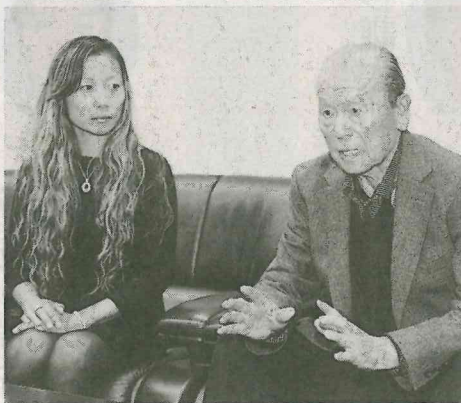


県産品のオーストラリア輸出に尽力した舟山さん(右)とパース県人会長のストックトン亜紀子さん



県産9商品 豪州輸出へ

古里の「食」復興応援

来春から県内産のコメ、みそ、そば、地ビールなど六社の九商品がオーストラリアに輸出される。オーストラリアで食品販売会社「ジュン・パシフィック・コーポレーション」を創業し同社相談役を務める舟山精二郎さん(右)が福島出身、同国在住の「が橋渡」した。舟山さんは東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興の道を歩む古里を応援していく考えだ。

福島出身、現地在住

舟山さん橋渡し

輸出される商品は、国際米流通センター(猪苗代)の「ペット

舟山精二郎さんとストックトン亜紀子さんは十二日、県産品のオーストラリア輸出までの経過説明で、福島民報社を訪れた。舟山さんは「福島県民は控えめでなかなかPRしない。福島のものはおいしいことをオーストラリアの人に広め、どんどん売っていききたい」と語った。

のお米「これは、う米」、会津物産(南会津)の「ふきのとうみそ」「ふきのとうしよゆ」、奥川こらんしよ村(西会津)の「舞茸ごはんの素」、こまや(白河)の「牛が旨いジャン」、奈良屋(南会津)の「会津高原そば」、福島路ビール(福島)の「林檎のラガー」「桃のラガー」「米麦酒(マイビール)」。

これらは来年三月、

オーストラリアの「日本祭り」の本

昨年第一回「祭り」で舟山さん、パース県人会長のストックトン亜紀子(左)が福島出身、同国在住の「が橋渡」した。舟山さんは東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興の道を歩む古里を応援していく考えだ。